

大学院集中講義開講通知
(数電機大学院G P 事業関連科目)

- 科目名 広域数理科学1(首都大数理情報科学専攻前期課程: R 8 9 9)
広域数理科学特論1(首都大数理情報科学専攻後期課程: R 9 0 0)
- 担当 倉田 和浩
- 題目 「数電機横断セミナー」
- 日程 この「数電機横断セミナー」は、月2回程度開催予定の「数電機連携セミナー」と月1回程度開催予定の「数電機キャリアパスセミナー」の総称です(詳細なスケジュール(日時・部屋)については、別途掲示等で周知します。数電機大学院G Pのweb page: <http://www.eee.tmu.ac.jp/mem/> も参照してください。)

【授業説明】数電機大学院G Pプログラム「理工横断型人材育成システムの再構築」における「連携セミナー」は数電機3専攻の学生が各自の研究の背景、課題、研究成果を他専攻の教員・学生向けに、その問題説明・課題提起を重視した発表を行い、視野の広いプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力の養成を図るためのセミナーです。この「連携セミナー」に参加することによって、数理情報科学専攻での学習・研究活動を軸としながら、工学分野との共通性と視点の違いを体験することにより、広く理工分野における各人の視野を広げるとともに、専攻を越えた交流の活性化を目指しています。また、「数電機キャリアパスセミナー」は、産業界で直面している応用数理的課題や産業界などでの数理科学の活用例を現場で活躍する科学者・エンジニアを招いて講演してもらうプロジェクトです。この「キャリアパスセミナー」に参加することによって、数理情報科学専攻での学んだ基盤的知識、数理情報科学的思考力や柔軟な発想力が、工学分野や産業界でどのように活用されているかに触れることによって、各自のキャリアパス形成への指針となることを目指しています。

【成績評価方法】単位修得には、「連携セミナー」にて少なくとも1回の発表(口頭発表またはポスター発表)をすることが求められます。(10月に既に開催された3専攻ポスター交流会での発表および参加や10/21開催の「連携セミナー」の参加状況も考慮されます。)最後にレポート提出を課し、授業参加度とレポートとで総合的に評価します。

【特記事項】この授業の単位を修得したい学生は、あらかじめ数電機G Pプログラム「履修計画書」をG P支援事務室に提出すること。電気電子工学専攻および機械工学専攻の学生で、この授業を履修申請する場合には、「専攻に準ずる科目」として理工学研究科・教務委員会の許可を得る必要がある。

履修申請は、

下記の期間に、理工学系事務室教務係にて行ってください

平成21年11月5日 ~ 平成21年11月13日